

## 令和元年度職業講話内容および教師の所感（一部）

### ○ 小島中 講師3名

（内容）介護福祉士、アナウンサー、路面電車運転士から、30分ずつ講話をしていただいた。

（所感）それぞれの講師の方には、さすがプロフェッショナルと感じさせる話をしていただきました。講話間の休憩時間には、生徒が講師の方々の方々のところに行き、質問を熱心に尋ねるなど、有意義な時間となりました。

### ○ 滑石中 講師9名

（内容）アスレチックトレーナー、美容師、路面電車運転士、看護師、ホテルマン、アナウンサー、市議会議員、幼稚園教諭、警察官 2コマを使い、グループに分かれて、講師の講話を聞き、質疑応答を行う。職業につくまでの経歴、やりがい、喜び・苦労、必要な資格などについて話していただいた。

（所感）キャリア教育の一環として、いろいろな職種の方に来ていただいたが、それぞれに講話の内容を準備してくださっており、その内容も中学生に向けたものであったため、生徒たちが真剣に聞いていました。初めて講話をされた方もいらっしゃって、逆に感謝されたりもして、準備できて良かったと思えるものでした。

### ○ 小ヶ倉中 講師3名

（内容）3名（整骨院院長、新聞社報道部、ケアハウス職員）の講師の方に、仕事についてのやりがいや大変なことなどを動画やパワーポイントを使用していただき、わかりやすく話していただいた。

（所感）1年生は3学期に総合的な学習の時間に職業調べを行っている。その導入として職業講話を行うことは、これから夢について考えていく生徒にとって良い機会となった。真剣に講師の話を聞き、積極的に質問するなど生徒の姿勢もすばらしかった。

### ○ 三川中 講師2名

（内容）キャリア教育の一環として、2名（映像製作業、ケアマネージャー）の方を講師として招聘し、それぞれ20分の講話の後、質疑応答の時間を設け、感想等をまとめ、その後のキャリア教育に生かす。

（所感）日頃、何気なく見ているテレビ番組やCMの製作現場の生の話を大変興味深く聞くことができました。また、生徒参加で、番組製作のデモンストレーションも実施してくださり、準備も含め、大変ありがたいと感じました。ケアマネージャーという職業については、多くの生徒が初めて聞く職業ではあったものの、大変わかりやすいお話で、これから非常に重要な職業であるとの認識がなされ、大変よい機会となりました。御両名とも、コミュニケーション力の大切さをお話されていたことも、大変印象に残りました。

### ○ 三和中 講師1名

（内容）講師の方が運営する『つくる邸』の活動紹介。長崎に移住するに至った理由と、長崎の魅力についての話。

（所感）将来、長崎が発展するにはどうすればいいかを考えるよう設定している。今回の講話は、長崎の魅力を再発見する良い機会になったと思う。